

<第4258回>

目的地：龍門山（紀北）

担当者：鹿田

実施日：2022年6月4日（土）

形式：日帰りハイキング

費用：¥2,600

参加者：10名

天気：晴れ

行程：

粉河駅（10：10）→田代峠コース登山口（11：28）→お地藏様（12：00）（昼食）→田代峠（13：05）→龍門山山頂（13：40）→明神岩（14：20）→中央コース登山口（14：55）→粉河駅（15：15）（解散）

感想：

6月の初旬、晴れ渡りすぎて暑い中、粉河駅から龍門山を目指しました。竜門橋を渡ると住宅街を抜け、急坂の果樹園になりました。桃、柿、キウイの間を抜けて登っていきませんが、舗装路の照り返しで暑すぎてクラクラし、今回の登山ではここが一番きつかったような気がします。風が結構吹いていたのだけが、唯一の救いでした。

1時間後に農道を抜けて田代登山口に到着し、やっと登山道に入ります。木陰になって涼しくなったのですが、風が通らないので蒸し暑いなと思いながら登ること30分、不意に右側からカカカ…という、これまで聞いたこともない音がしました。見ると草むらに茶色い小さな蛇が座って、鎌首をもたげて威嚇していました。頭の形は三角、これはまさかの毒蛇では？と思い、後続のA氏とT氏に「蛇います！」と警告しました。

T氏が草むらをストックで何度かたたくと蛇は逃げていきましたが、その時に体勢を崩して足を強くついてしまい、すぐに足の具合がおかしいと告げられました。少し休むことにし、すぐ上にあったお地藏様のあたりで昼食となりました。休憩しても痛みはひかず、どうも肉離れを起こされたようでした。T氏は下山されることになり、A氏が付き添って引き返されました。

後で調べてみると蛇はやはりマムシのようで、ガラガラヘビと同じく、マムシは尾を振って威嚇音を出すのだそうです。幸い、T氏が追い払ってくださったおかげで、誰も噛まれずに過ぎましたが、担当としては蛇の知識もなく想定外で、お二人にはご迷惑をおかけする形となり、たいへん申し訳なかったです。

その後、残り8名で山頂を目指しました。田代峠を越えると割合になだらかで歩きやすい道で、そのまま登山口から1時間半後に無事に山頂に到達しました。

この山頂あたりは蛇紋岩の地質でニッケルやマグネシウムが含まれているそうです。今回の目的の一つでもあるキイシモツケはこの蛇紋岩の地質にしか生息せず、和歌山県の黒沢山、生石ヶ峰、龍門山にしか見られないのだそうです。白いコデマリのような花で、山頂では群生となって咲いていて、とてもきれいでした。

またここはパラグライダーのスポットともなっていて、上空には何機ものパラグライダーが舞っていました。山頂も眺めがよかったですのですが、そこから中央コースを40分ほど下山して、途中にある巨大な明神岩あたりからは、紀ノ川の流れる溪谷が一望でき、雄大な眺めがすばらしかったです。明神岩近くには小さな天然の風穴もあり、楠木正成が一時もっていたという伝説があるそうです。

明神岩からは30分ほど急な坂を下り、中央登山口に到着。粉河駅にて解散しました。先に下山された2名とも粉河駅で合流できました。

今回は予想外の事態で全員での登頂ができませんでした。反省点も多々ありますが、参加していただいた方々の協力のおかげで無事に登頂もでき、楽しい時間もすごせました。深く御礼申し上げます。